

## 第2回交通バリアフリー推進懇談会（平成18年10月27日）

### 1) 開催概要

日 時：平成18年10月27日（金）午後7時～午後9時

場 所：中根住区センター 第1,2会議室

出席者： 名（一般参加者 名、東急電鉄 名、目黒区職員 名、コンサルタント2名）

### 2) プログラム

#### 1. 主催者あいさつ

#### 2. 整備計画の素材について

緑が丘駅周辺地区のバリアフリーの課題

交通バリアフリーの進め方

緑が丘駅周辺地区交通バリアフリー整備計画の＜素材＞

#### 3. 意見交換

区が主体となって進める事業

地域での活動について

#### 4. 閉会あいさつ

### 3) 意見交換要旨

（・参加者 目黒区、コンサルタント）

・盛り土を撤去し、高架下の高さを確保して広場をつくると聞いている。九品仏川緑道の自由が丘寄りの盛り土も撤去して、その下に自転車置場を移設できないだろうか。駅側は広場として有効活用ができ、南北の行き来も可能となる。

目黒区では8月に、駅改良計画に伴う駅周辺整備方針（以下、「方針」）を作成した。具体の整備計画を今後検討するが、東急電鉄の協力も必要であり、事業費も必要となる。国からの補助金が得られなければ事業の実施は困難と考えている。

高架下は現況3.5mだが、はしご車が通れる高さを確保したいと考えているが整備計画に盛り込めるかどうかは未定である。橋の桁を薄くする方法、路面を低くする方法なども考えられる。基本的には事業費が大きくならないようにしたい。

盛り土撤去についても事業費がかなりかかり、整備計画に盛り込めるかどうか未定である。

・道路を下げると費用はかからないのではないか。

今回のバリアフリーの整備計画の中に盛り込めるか不透明で、今後の課題として残されるかもしれない。

・8月より後退した印象を受けた。

方針としては考えているが、東急電鉄との調整が必要であり、また事業費が何十億とかかるため、一つ一つクリアしていく必要がある。バリアフリーの整備計画には、方針に基づき駅やその周辺を整備していくという考え方を盛り込みたい。具体的に、いつまでに、どこまでできるかについては、すぐ回答はできない。目黒区が全部事業をやればできるが、それは考えていない。

- ・はしご車を通すために路面を下げるのは反対だ。短い距離で路面を下げると勾配がきつくなり、事故も起こりやすくもなる。現在でも駅前の一方通行の道路の出頭で事故が多発している。
- ・一方通行から出て右折する際に、横断する人が非常に見えにくい。また、一方通行の標識も分かりにくく、進入してくる車もあり、危険度が高い。  
基本的に歩行者が安全に通行できる方策を講じていく必要がある。広い道路ができるのであれば、路面を下げることも考えられるが、現況では難しい。
- ・どうしてもはしご車が通れる高さにしなないといけないということではないだろう。  
道路法では4.5m確保するとなっているが、現在あるものについては支障がない。上げられるところは上げたいが、東急電鉄等との協議となる。自由が丘等では2.7m程度であるため、高さが確保できそうな場所は緑が丘の高架下となる。
- ・火事の場合は、環7で迂回しているようだ。  
通常の消防車は現在の高さでも通れる。はしご車が出動する程の高さの建物は、今のところ多くはない。
- ・駅前の交差点では、電車に乗り遅れないように急ぐ人が多く、信号を守らない人が多い。  
信号を待つスペースも不足している状況である。  
バリアフリーの整備計画では、駅に関連する事項だけではなく、隣接地区とのネットワーク化等も考えていく必要がある。このため、駅に関連しては別途具体の計画を作成していくのがいいと考えている。  
ただし、駅はバリアフリー化を考える上で重要な施設であるため、バリアフリーの視点での基本的な考え方は盛り込みたい。
- ・「駅舎にだれでもトイレの設置」とあるが、駅前の公衆トイレは残すのか。  
公衆トイレとして、残したい。
- ・公衆トイレを残すと、駅前広場がすっきりしないのではないかと。  
現在の方向性では、駐輪場を含め設置したいと考えている。  
現在、駅前の公衆トイレの利用率はどうか？
- ・かなり利用している。駅利用者だけでなく、一般車やタクシーの運転手もよく利用している。
- ・駅裏に東工大へ入る門をつくったが、開放していないため行き来ができない。
- ・また、個人の駐車場として使用されているため、避難時に困る。目黒区土木課、碑文谷警察署に行き話をしたが、動きがない。
- ・東工大との話は住民では難しいので、区で強い姿勢を持って取り組んでいただきたい。  
今回のバリアフリーの整備計画に盛り込むことは難しいかもしれないが、意見をいただいたということで、個別に対応していくことになると思う。  
8月に示した方針では、東工大が広域避難場所になっているので、通路を整備して常時開放したいとしている。これについては、現在東工大と折衝中である。ただ、夜間の開放はセキュリティの問題から難しいと思う。

駅に関連して放置自転車の問題がある。

- ・高架下自転車置場横の道路は狭く、自転車が行きかう幅がない。急に自転車が走ってくると危険である。他の道路も含めて、ゆったりとした空間が必要だ。
- ・そうした意味でも、自由が丘側の盛り土を撤去して自転車置場を設置した方がよい。奥沢では、世田谷区と協力して3階建ての自転車置場を設置している。

駅に関連する内容も重要だが、その他の項目についても意見をいただいた上で、バリアフリーの計画を立てていきたい。

- ・九品仏川緑道の世田谷側道路が狭い他に、目黒側道路にバイクが駐輪されている。バリアフリーの面からもよくないという雰囲気づくりはできないだろうか。
- ・駐輪場は満杯ではなく、奥の方は空いている。無料にしてはどうだろうか。都立大学や自由が丘と比べると、駅の放置自転車は少なくなってきている。無料となっても、維持管理費はかかってしまう。そういった点はどうか。
- ・シルバー人材の方が積極的に動くといい。一定の効果はでてきている。  
(区自転車担当) 緑が丘については、月に1度は駅周辺の撤去、置場内の整理をしている。駅周辺、置場内も状況はかなりよくなってきている。

- ・緑が丘3丁目にトイレがない状況は深刻だ。学童は「子ども110番」の家や店舗でトイレをかりている。年輩の方はコンビニのトイレをかりるのも、はばかれる。
- ・駒沢公園から呑川緑道を花見や散歩で歩いてくるも多いが、トイレがない。工大自転車置場の広場では、地区のお祭りや盆踊り、防災訓練を開催することもある。そこに簡易型でもいいので、トイレがあればいい。数年前に嘆願書を出したが、受け入れられなかった。いつ頃になるか。
- ・2年程前になる。区長との懇談会でも話をした記憶がある。
- ・近所でトイレ設置に反対している方が一人いる。
- ・全体的な状況から見ると、設置した方がよい。

- ・緑が丘3丁目では、東工大へ避難するのに橋を渡ることになるが、架かっている間隔が広い。40年程前に護岸工事をしたが、暗渠にする計画もあった。護岸の強度は十分あるだろう。数年前に虫が出るのでなんとかしてほしいという要望を出したが、補強工事が十分でないという回答であった。

緑が丘3丁目では、トイレ、川、踏切りと複数の課題を抱えている状況だが、今回のバリアフリーの整備計画についてはどうか。主要経路として、九品仏川緑道等を新たに位置づけてはどうかと考えている。他に優先的に整備した方がいいという路線等があればあげていただきたい。

- ・今あがっている路線の他にということか。  
今回は、現時点での候補をあげているが、この他にあればあげていただきたい。
- ・緑が丘駅は、段差が解消されて改善されるということでもいいか。  
基本的な考え方としては、改札から道路までに距離を設けて安全な空間を確保したい。
- ・駅については応急処置であるが、つい最近、段差を均等にして手すりを設置する工事をした。
- ・自由が丘と緑が丘の境の踏み切り(緑丘保育園付近)は、傾斜がきつい。滞留スペースも傾斜となっており、車椅子は通行できない。自由が丘とのアクセスの点では、検討しておいていただき

たい。

九品仏川緑道は「みどりの散歩道」として整備されてから随分経っていることから、手を入れていくことも今後の課題となるかもしれない。

九品仏川が鉄道の下にあるため、どうしても道路をあげて踏切りを設ける構造になる。傾斜を解消すると、沿道の家への接道状況が悪くなってしまう。

#### 4) その他

今後整備計画の案を作成し、早ければ12月に第3回の懇談会を開催したいと考えている。遅くとも来年2月には開催したい。

- ・できれば、パワーポイントを資料として配布していただければ助かる。

緑が丘のバリアフリー計画では、やはり駅が重要で影響のある施設となる。高架下の建物もこの地区では課題で、解消されればそこに駐輪場も整備できる。期待している。東急電鉄との協議状況を随時知らせていただければと思う。

資料については、整備計画の案の際に配布させていただきたい。

駅整備の交渉過程については、お知らせしていきたい。

#### 5) 当日の様子



以上